

JCAS

JAPAN CEMENT ASSOCIATION STANDARD

セメント協会標準試験方法

JCAS I-60 : 1982

普通ポルトランドセメント中の高炉スラグ、
シリカ質混合材、フライアッシュ及び石灰石
の含有率の推定方法

1982 年 8 月

一般社団法人セメント協会

白 紙

目 次

普通ポルトランドセメント中の高炉スラグ，シリカ質混合材， フライアッシュ及び石灰石の含有率の推定方法 JCAS I-60:1982

ページ

1.	適用範囲.....	1
2.	一般事項.....	1
3.	試料.....	1
4.	混合材含有率の推定結果の表し方.....	1
5.	試験方法.....	1
6.	高炉スラグの含有率の推定.....	1
7.	シリカ質混合材の含有率の推定.....	4
8.	フライアッシュの含有率の推定.....	7
9.	石灰石の含有率の推定.....	8
10.	混合材の総含有率の推定.....	14

白 紙

普通ポルトランドセメント中の高炉スラグ, シリカ質混合材, フライアッシュ及び石灰石の含有率の推定方法

I-60-1982

1. 適用範囲

この方法は普通ポルトランドセメント中の高炉スラグ, シリカ質混合材, フライアッシュ及び石灰石（以下高炉スラグ, シリカ質混合材, フライアッシュ及び石灰石を混合材と称する）の含有率の推定に適用する。

2. 一般事項

この推定方法についての一般事項はJIS K 0050（化学分析通則）の規定に従う。

3. 試料

試料はJIS R 5201（セメントの物理試験方法）の3.によって採取し、調製したものをを用いる。

4. 混合材含有率の推定結果の表し方

推定値は百分率で表し、少数点以下1けたに丸める。

5. 試験方法

普通ポルトランドセメント中に高炉スラグ, シリカ質混合材, フライアッシュ及び石灰石のいずれかが存在していることがあらかじめわかっている場合は、6.～9.に示したそれぞれの方法に従い含有率を推定する。

混合材を2種以上含有する場合及び混合材の種類が不明の場合は、10.の方法に従って推定する。

6. 高炉スラグの含有率の推定

6.1 要旨 原試料及び別にふるい分けした粒群 $20\sim 30\mu\text{m}$ の試料中の硫化物硫黄をそれぞれ定量し、同じくふるい分けした試料中の高炉スラグ粒子と普通ポルトランドセメント粒子の粒子数比を光学顕微鏡により求め、高炉スラグの含有率を算出する。⁽¹⁾